

● 令和4年度 活動報告 ●

- (1) 役員会議 ①6月17日 ②10月6日 ③12月9日
- (2) 第45回定期総会（4月22日）  
今年は、会場参加とリモートでの参加というハイブリット方式の開催となりました。  
エスポール宮城を会場に行われ、宮城県保健福祉部障害福祉課の大森課長より、宮城県の福祉行政の説明をいただきました。
- (3) 東北地区知的障害者福祉協会 定期総会・施設長連絡会  
令和4年度は、岩手県が当番県としてオンライン開催となりました。  
令和5年度は青森県で開催される予定です。
- (4) 部会活動  
度重なるコロナ禍ということもあり、今年度の各部会活動も活発な活動は難しい環境が続いております。部会によっては、新型コロナの感染状況を注視しながら、年明けに研修会を予定する部会、アンケートによる情報収集に努めている部会もあります。
- (5) 支援スタッフ部会  
本人活動では、ダンス発表会・デジタル旅行会をZOOMで行いました。  
現在、のど自慢大会を2月22日にオンラインで開催予定です。  
職員養成では、東北フォーラムに向けての話し合い・テーマに沿っての情報交換を行っております。
- (6) 今後の主な予定  
1月23日（月）…宮城県障害福祉課との意見交換会  
2月17日（金）…役員会及び「施設長研修会」  
4月 7日（金）…監事監査及び役員会  
4月下旬 …定期総会

\* 編集後記 \*

会員施設の皆様、新年あけましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願いいたします。  
昨年夏の甲子園で仙台育英高校が初の全国制覇、新年の春高バレーでは古川学園高校が優勝しました。スポーツ界での宮城県選手の輝かしい活躍は、県民にとっても「元気」をもらった出来事でした。  
さて、スポーツ会場や沿道での応援も徐々に再開され、選手から応援への感謝や感動のコメントを耳にする機会も多くなってきました。  
研修会やイベントの対面での開催は、参加する皆様の満足感や伝達効果が大きいと感じています。  
白石会長や佐々木監事のご挨拶にもありましたが、是非今年是对面での研修会等の実施にシフトしていく年にしたいと考えております。  
会員施設の皆様にとって、素敵な1年になる事を心よりお祈りいたします。

# 宮知福協だより

## NO2

発行 宮城県知的障害者福祉協会  
発行責任者 会長 白石 圭太郎  
住所 仙台市宮城野区幸町4-6-2  
発行日 令和5年1月 吉日

● 新年の挨拶 ●

宮城県知的障害者福祉協会 会長 白石 圭太郎



会員施設の皆様、新年明けましておめでとうございます。  
旧年中は、当協会の活動に多大なるご支援を賜り感謝申し上げます。  
新年に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。  
さて、本年も1月に支援スタッフ部会主催の東北フォーラム福島を皮切りに多くのイベントを控えております。  
私の所属する法人も含め現在のコロナ禍が施設運営に甚大に影響していることは事実として受け入れつつも、我々の業界もアフターコロナにシフトしていかなければならないのも事実であります。  
これまで、コロナ禍におきましては、オンラインでの研修会、イベントが殆どでしたが、今年からは様子を見ながらではありますが、徐々に対面での開催に切り替えてまいりたいと思っております。  
もちろんコロナ禍で出来なくなったことありますが、知恵を絞りオンラインでもできるようになったこともたくさんありますし、行政との関係を深めてこられたのも事実であります。現実を正しく受け止め、今できることを少しずつでも進めていける1年になればと願っております。  
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

● 新監事挨拶 ●

監事 佐々木 浩幸（支援センター ふわり）



新年あけましておめでとうございます。  
昨年4月から宮城県知的障害者福祉協会の監事を務めさせていただいております  
社会福祉法人大崎誠心会 グループホーム支援センターの佐々木浩幸と申します。  
昨今の新型コロナウイルス感染症においては、会員のみならず同様に、大変な時間と労力を要して対策に努められているかと存じます。私どもの事業所においても11月と12月にかけて、3箇所のホームで入居者7名と関わった職員4名が感染いたしました。  
幸いにして他のホームへの拡大を阻止し、感染者を最小限に留めたことは、感染対策における大きな自信となりました。福祉協会会員の皆さまからの貴重な情報やサポート協会様のご指導によるBCP策定の研修会の成果だと強く感じております。ありがとうございました。  
このコロナ禍にあり、対面での研修が実施されない中でオンラインによる研修が定着して参りましたが、東北地区知的障害者福祉協会の研修委員会では委員長を仰せつかり、研修のあり方や研修の必要性、そして、対面研修の再開を近い目標として任務を全うしていきたいと思っております。  
福祉協会会員の皆様に対し改めまして、本年もよろしくお願いいたします。